

新型コロナウイルスに対する注意喚起

中国武漢市から発生した新型コロナウイルスによる感染症が、世界中に広がりつつあります。日本国内でも既に複数例報告されており、今後も感染拡大が懸念されます。咳エチケットや手洗いなどの感染症対策に努め、日本へ帰国（入国）された方、あるいはこれらの方と接触された方に咳や発熱等が出現した場合、まずは居住地の保健所へ連絡してください（保健所から医療機関を案内されます）。

<新型コロナウイルスによる感染症の特徴>

潜伏期間

- ・ 2～10日（最大14日程度と考えられています）

症状

- ・ 発熱、咳、呼吸困難などの呼吸器症状
- ・ 症状が出ない場合もあります

感染経路

- ・ 飛沫感染（咳やくしゃみ）、接触感染（感染者が触れたものに触る）
- ・ ヒトからヒトへ感染したという例が報告されています

予防・対処法

- ・ 予防接種は現時点ではありません
- ・ 旅行等により海外から入国した場合、2週間は発熱などの症状の出現に注意してください
- ・ マスクの着用、うがいや丁寧な手洗いを励行してください（コロナウイルスにはアルコール消毒が有効と言われています）
- ・ 持病をお持ちの方は、人込みを避けるなど、より一層の注意をしてください
- ・ 新型コロナウイルス感染症と診断された場合は、**出勤および登校はせずに、所属部署（学生は学務担当窓口）か保健管理センターに電話で連絡**を入れてください